

長浜市連合自治会主催 平成24年度 まちづくり講演会  
**東日本大震災後の  
 協働ですすめるこれからのまちづくり**

【と き】11月25日(日) 14時～  
 【と ころ】木之本スティックホール(木之本町木之本)  
 【講 師】宮川俊二氏(ニュースキャスター)  
 ※参加費無料、直接会場にお越しください。  
 注) 座席数に限りがありますので、先着受付順となります。  
 問) 市民協働推進課 (☎65-8722)



市連合自治会では、まちづくりへの取り組み支援事業として「まちづくり講演会」を開催します。今年度は、クイズ番組やバラエティで博学ぶりが大人気のニュースキャスター宮川俊二氏を講師に招いて、報道キャスターのするどい視線でまちづくりをテーマに講演をいただきます。まちづくりに関心のある市民ならどなたでも参加できます。

**地域安全長浜市民大会～犯罪のないまち長浜をめざして～**



【と き】11月18日(日) 13時～15時30分  
 【と ころ】リュートプラザ(びわ文化学習センター 難波町)  
 【内 容】◇防犯功労者・防犯功労団体表彰  
 ◇記念講演 須田慎一郎 氏(経済ジャーナリスト)  
 テーマ「もう知らなかったでは済まされない!」  
 ～これが反社会勢力の手口だ～  
 問) 市民協働推進課 (☎65-8722)

**防犯功労表彰を受けられました**

10月6日(土) 浅井文化ホールで開催された「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会において市内の地域安全や少年補導にご尽力いただいている皆さんが、その功績を称えられました。  
 ◇全国防犯栄誉銅章(全国防犯協会連合会長表彰) 松原 晃さん  
 ◇「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり大賞(県知事表彰) 長浜市コンビニ防犯連絡協議会  
 ◇防犯功労者(県警本部長・県防犯協会会長連名表彰) 丸岡 丈士さん 松岡 博さん 田川 悦男さん  
 ◇防犯功労団体表彰(県警本部長・県防犯協会会長連名表彰) 県立伊香高等学校SOUND会(サウンド会)  
 ◇少年補導功労者(県警本部長・県少年補導員会連絡協議会長連名表彰)  
 川村 清秋さん 金田 千秋さん 松枝 剛さん 竹原 正治さん 七里 藤吾さん

**コミュニティ活動の推進に一役!**

八幡町自治会が、宝くじ助成を受けて自治会館備品等の整備をされました。  
 この助成は、(財)自治総合センターが、宝くじの収益を地域に還元するために実施しているもので、今後、さらに地域コミュニティ活動が推進され、地域住民の絆が深められることが期待されます。



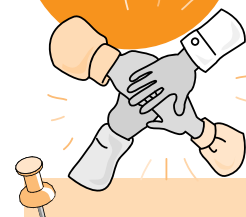
↑八幡町自治会館の備品と縁台

問) 市民協働推進課 (☎65-8722)

**協働のまちづくり**

**～協働の取組みを行うときの5つの視点～**

協働の取組みには様々な種類と手法がありますが、具体的な取組みを行う時には必要な視点があります。今回はその視点を紹介します。



- ▶ **市民の理解を深め、活動への参加を促す視点**  
 多くの人がまちづくりに関心を持つ一方で、活動をしていない、あるいは協働という考え方が浸透していない現状があるため、啓発や参加を促すことが必要です。
- ▶ **協働推進のための環境整備の視点**  
 団体が自立した活動を行うためには、安定した資金調達の仕組みや、リーダーとなる人材の育成などを考えることが必要です。
- ▶ **様々な団体等との連携推進および強化の視点**  
 同じような理念や目的をもって活動していても、他の団体のことはほとんどわからず、出会う機会も少ないため、連携協働していくことが必要です。
- ▶ **協働に関する情報の収集、発信と共有の視点**  
 協働によるまちづくりの推進には、市政や市民活動に関する情報など、様々な情報の発信と、それを共有することが必要です。
- ▶ **市職員の意識改革と推進体制の整備等の視点**  
 職員の協働に対する認識も低いことから、職員が協働を正しく理解、認識するための体制整備等を行うことが必要です。

問) 市民協働推進課 (☎65-8722)

**地域づくり協議会の活動紹介**

地域づくり協議会とは・・・  
 住民自らが地域課題に取り組み地域づくりにおいて核となる組織で、市内24地区すべてで設立されました。(概ね公民館単位または連合自治会単位を一つのエリアとしています)

**速水学区・地域づくり協議会  
 「命を守る防災活動と見守り支えあい啓発活動」  
 地域の課題**

① 自主防災組織がない、防災訓練が実施できていない自治会があり、また、速水学区内にある自治会が連携して学区全体での防災に関する取組みができていない。  
 ② 長浜市避難支援見守り支えあい制度について、地域で十分に認知されておらず、その制度の目的に沿った活動ができていない自治会もある。

**課題解決に向けて**

① 防災活動として、速水学区防災委員会の発足、AED設置個所の調査と周知、各自治会への心肺蘇生訓練や速水学区全体の防災訓練と避難所運営訓練等の計画・実施。  
 ② 長浜市避難支援見守り支えあい制度の啓発を図るため、リーフレットの作成や移動式啓発看板の作成・設置をおこない、制度に対する住民の意識の醸成を図られています。



▲啓発リーフレット

**取組みの効果と今後の展望**

命を守る活動として、これらの取組みが自治会役員を中心に他の住民にも理解されました。  
 今後は、これらの活動を通して、さらなる防災活動を推進していくとともに、近隣住民間の日常の繋がりがいかに重要かを再認識し、地域の実情に応じた速水学区独自の地域づくりをめざしていきます。

問) 市民協働推進課 (☎65-8722)